

高粱発！全国へ

吉備国際大学女子サッカー部 チャレンジリーグへ挑戦！



市職員有志から贈られた応援旗を手に健闘を誓う吉備国際大学女子サッカー部の皆さん

吉備国際大学女子サッカー部は昨年11月、女子サッカー国内最高峰・なでしこリーグの2部に当たる「チャレンジリーグ」入れ替え戦を見事突破。今春から始まる予定の同リーグに参入します。現在市内でも、同大学女子サッカー部の後援会が立ち上がるなど、盛り上がりを見せています。同部で監督を務める太田真司さんと、二人の選手に抱負などを聞きました。



太田監督

「まずは、チャレンジリーグ昇格おめでとうございます」

監督 ありがとうございます。

応援してくださった地域の皆さんのおかげです。

「新たな挑戦の始まりですね」

監督 はい。高粱地域の代表として頑張っていきたいです。

「地域といえば、最近はボランティア活動など、積極的に地域の人たちと関わっておられると聞きました」



クリーン作戦に参加

「しかし、成羽花火を手伝った選手は「君たちがいてくれて助かった」と言われた。自信になった」と喜んでました。

地域貢献活動をすることは、選手たちを成長させますし、結果的にチームにとって大きなプラスになると思っています。

「どんな指導を心がけているのですか」

監督 「できない、無理だ、と自分で決めてしまうな。失敗してみろ。挑戦しないと何も進歩がないぞ」と、いつも選手には言っています。私たちは「地域に必要とされる地域密着型のチーム」を目指しています。私をサポートしてくれている二人を紹介しましょう。

と、監督は二人の選手を紹介してくれた。二人はコーチとしても太田監督を支えてきた存在のこと。

監督 はい。地域貢献活動に力を入れていきます。草取りやごみ拾いをはじめ、成羽愛宕大花火やふれあい運動会などのイベントへ参加しお手伝いしています。また、サッカー講習も行っています。

ふれあい運動会の企画に参加した選手たちは「お年寄りが多くて運営が大変そうだった。自分たちがお手伝いすることで、この運動会がずっと盛大にできるのだから、喜んでこれからはお手伝いしたい」と言っていました。



うどんの販売をお手伝い

この運動会がずっと盛大にできるのだから、喜んでこれからはお手伝いしたい」と言っていました。

「監督・チームからどんなことを学びましたか」

竹野 目標に向かって頑張ることが、どれほど大切なのかを学びました。社会に出ても頑張っていきたいです。

大田 私に何かできることはなにか、常に考えながらチームに貢献していきたいです。

「これからの目標は何ですか」

監督 チャレンジリーグは通過点です。一般市民などの会員会費で運営されている、スペインの有名なプロサッカーチーム「FCバルセロナ」のように、地元・高粱の皆さんに愛されるチームを目指しています。何年かかるか、100年かかるかもしれないですが、一歩一歩前進していきたいと思っています。



写真左から竹野由和さん(4年)、大田真由香さん(3年)